

2011-B					
拠出金・基金の名称:		排出・吸収量世界標準算定方式確立事業拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 気候変動に関する政府間パネル(IPCC)					
【所管官庁担当局課・室名】: 環境省地球環境局総務課研究調査室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 国別温室効果ガスインベントリープログラム/テクニカルサポートユニット(NGGIP/TSU)運営費					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成23年度	161,752	-	-	円建て	0
平成22年度	165,024	-	-	円建て	0
平成21年度	150,113	-	-	円建て	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 温室効果ガスの排出・吸収量の世界標準算定方式を確立することを目的とした活動を実施する機関。標準算定方式の改訂・確立は、京都議定書を実行に移す上で不可欠であるため、本タスクフォースは極めて重要な機関と認識。なお、本拠出金は、本タスクフォースの活動を支援するテクニカルサポートユニット(技術支援ユニット)の運営経費等を拠出するものである。					